



江南ラミネートが作ったキャンプ場のような休憩室＝13日午後、四国中央市川之江町

休憩室 キャンプ気分 四国中央の紙加工会社

四国中央市川之江町の紙加工会社「江南ラミネート」が、キャンプ場に模した休憩室を工場内に作り、業界で話題になっている。自然に近い雰囲気の中でリラックスしてもらうのが狙いで、石川克晴社長は「社員同士がアイデアを出し合うような場所になればうれしい」と話している。

休憩室は工場2階の空き部屋に設け約140平方メートル。人工芝を敷き、壁は空や海をイメージして青色。テントやキャンピングチェア、バーベキューコンロなども並べている。整備費は300万円程度という。

休憩室整備に当たって石川社長が知人の

社員に安らぎ提供

デザイナーに「社内で家族的なつながりを育みたい」と相談。「中小企業は個性を出したほうがいい」とアドバイスを受け、今月上旬に完成した。社員に寝泊まりしていいですかと冗談を言われるほど好評だと言い、社が掲げる「会社は社員のために全力を尽くす」との理念にもそぐうと石川社長。

江南ラミネートは主に物流・食品用の包装資材や不織布を使った衛生用品などを製造し、社員数は46人。2020年の売上高は約19億円。

(小椋哲郎)